

汗の輝き

創業して10年未満の若い企業をご紹介します。



福祉用具のレンタルや販売、住宅改修、居宅介護支援などで生活の基盤を支えるエココロネットワーク株式会社、代表取締役の山本誠一さんにお話をうかがいました。

介護保険サービスと福祉的側面から地域の生活をサポートする



40歳を区切りに 起業する決意を目標づけて

もともと自分の中で「40歳」を区切りに経営者として自分の人生を送りたいと思っていたんです。そこで39歳にして脱サラし、福祉の専門学校に行くことにしました。

本当にこれは縁だなあと思うのですが、自らで介護や福祉の道を選んだのではなく、ある日、偶然に通りがかった介護・福祉の専門学校のオープンキャンパスに立ち寄り、校内を見学させてもらったのがきっかけなんです。当時は夢であった建築関係の資格を目指そうと思っていたのですが、見学して、これからの世の中に必要なのは、絶対に

会社DATA エココロネットワーク株式会社

代表取締役 / 山本 誠一
住所 / 千葉県花見川区検見川町1-105-5
電話 / 043-441-6561



介護や福祉の仕事だと感じました。この時は大きくビジネスをしたいというよりも、社会的に意義ある仕事をしたと考えていたので、すぐに入学を決めました。

私が通ったのは夜間の部で、学んでいたのは20代〜60代と幅広かったです。ここで世代の違う人たちと交流できて、すごく刺激を受けたんですよ。こんな風に誰でも分け隔てなく話しかけて、世代を超えて一緒にやっていた仕事は自分に向いているなあと確信しました。

いつかをいつに近づけていきたい 思いが込められた社名

創業は2009（平成21）年で、当

ことが、この仕事をやっていて本当に良かったと思います。

お客さまとの共感を大事にして「介護・福祉エンターテイメント」で感動を与えたい

学生時代にデイズニールランドのキャストをしていた頃、そこで学んだ大切にしていう言葉に「エンターテイメント」という言葉があります。それは、一方的に与えるサービスをするのではなく、相手にどう喜びを感じていただくかということで、自分もその喜びを受け止め、共に感動するということです。介護の仕事は押しつけけになりがちですが、嬉しいとか、ありがたさの感謝の気持ちをもつていただくことで、自分たちも嬉しさや感謝の気持ちを感じることができる、それが明日への仕事につながっていくのだと思ってます。

今後も介護保険でできることのみならず、より広い福祉的な視線を持ち、本当はこうしてほしいと思うことをしっかりとらえて、お客様に素直に喜んでいただける事業を行っていきたく思います。

AIやIoTの導入、人材不足など社会が急速に変化する世の中ですが、弊社は基本理念を変えずに、少しずつ時代に合わせた業態に合わせていきたいとも考えています。



基本理念

今ヤラズニ、何時ヤル 自分ガヤラズニ、誰ガスル

困っている人がいたら... 今すぐに助ける 困っている人を見かけたら... 自分が助ける

経営理念

思いやりの e-cocoro
《人にやさしくします》

わたしたちは、いつでも相手の立場に立ち、心を受け止め、今現在の状況を把握し、自分が持っている本来の思いやりの心（e-cocoro）で寄り、愛の心をこめて実践いたします。

ともに生きる e-cocoro
《まわりを幸せにします》

わたしたちは、社会の一員として責任と秩序を重んじ、あらゆる差別をなくすことと交流し、自然環境（eco）と人（coco）を結び、安全で平和な生活の実現を目指します。

誠実な e-cocoro
《まじめに働きます》

わたしたちは、原則原則に即し、愛憎と正義と活力をもって、真面目に働き、社会貢献（out-work）と報酬し、1つで1つの仕事をこなすことを喜びます。

初は環境と人にやさしいことができればと思いい、高齢障害者施設や保育園の空気清浄や除菌をする仕事を手掛けていました。そのため「エコ」と「ココロ」を合わせて「エココロ」としていました。

半年ほど経った頃、「お客様の生活面をサポートして、困ったことをお助けする仕事の方が社会に求められているのではないか」と思い、介護・福祉の分野に特化した業態に転換したんです。そこで、さらに社名にこだわり、「ecocoro」とローマ字表記にしたことで「いーこころ」となり、「自分たちの中にある本当の優しい気持ちを次へとつなげていきたい」という意味合いで、エココロネットワークという社名を付けました。創業当初は大変でした。以前は大手百貨店で法人外商を担当していたこともあり、自分は営業向きでなくてもできるという自負はあったのですが、分野も業態も組織の規模も全く異なるため、「自分って小さいなあ」と実感しました。

それであれば、「小さい企業ならではの地域に密着した事業をしよう」、地域の人が、いつでも相談ができ、いつでも頼れて、その問題が解決できる場として、介護保険事業をやっていることと決めました。現在ではこの他に、独立型社会福祉士事務所を立ち上げ、介護

困ったところに、すぐに駆けつけるのが基本方針

現在はケアマネジャー5人、福祉用具専門相談員4人と事務員が所属しています。基本的には地域包括センターからの連絡でご依頼を受けますが、当社の場合は病院や介護施設の他、地域の商店会、連携をしている整形外科からのご依頼もあり、地域にお住いの方から直接のご依頼も多くなっています。緊急性が高いお困りの方には、待たずなしてすぐご自宅や病院まで駆けつけるようにします。

困っている方に対して、「明日行きます」「明後日行きます」では、その人もっと困った事態に陥ってしまうかもしれない。なかには一人暮らしが長く、ご自宅に引きこもっていたり、認知症の自覚がない人もいます。「困っている人がいたら今すぐに助ける、困っている人を見かけたら自分が助ける」それが当社の理念です。そうやって、最悪の事態から救えた人は何人もいます。本音を言うと、とても大変ですが、そうしたことで誰かのお役に立っている